

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		障害児保育園ヘレン東雲					公表日	2026年 3月 5日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	2	・利用人数に応じて配置を見直し十分な導線を確認できるよう工夫している。	・室内で運動遊びをする場合には、十分なスペースがあるとは言えない。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9	0	・スタッフの人員配置について、自園だけではなく、ほかの地域のヘレン園もふくめて適切な人員配置の検討調整をおこなっている。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	1	・施設設備はバリアフリーになっている。	・視覚聴覚に障害のある児童に対して環境上の配慮を充実させていきたい。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	0	・毎日の掃除、環境整備を実施している ・室内の備品配置や児童に合わせたスペース確保について職員で相談し工夫している。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	5	・個別の部屋がないため、パーティションにて児童にあわせたスペースを確保している。			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	2	・職員は係を担当し、係業務を中心に園運営に携わっている。 ・全体で進めるべきことは職員全員での会議にて話し合っている。	・職員全体へ情報が行き届かないことがあるので、改善していく。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	2	・保護者よりいただいた評価は職員全員で共有し、業務改善につなげている。	・事業所自己評価は毎年ヘレンホームページ上にて公開をし、スタッフにも社内連絡ツールにてホームページ掲載内容を通知している。 ・事務所内で評価表を掲示するなど検討する。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	・定期的に職員全体で話し合いの機会を設け、業務改善につなげている。 ・職種を超えて支援方針をすりあわせて保育にあたっている。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	8		・第三者による外部評価は行っていないが、実施についても検討を継続している。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	0	・毎年全職員対象で虐待防止研修、救命救急講習を受講している。 ・また、研修ガイドラインにのっとり外部研修受講も推奨している。			
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	0				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	9	0				
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	0				
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	0				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	0				
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	0				

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	0		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	0	・繰り返し行うことで慣れていく園児もいるため、意図的に複数回行うことはある。 ・活動中の児の様子を観察しながら、展開や方法を変えることで内容が固定化しないよう工夫している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	9	0	・集団活動の時間を中心としながら、園児の状況に応じて個別活動の時間を取り入れている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	3	・支援担当者は当日中に記録を行い、それをもとに職種ごとの週次のミーティングで振り返りを行っている。 ・職員全体に伝えるべきことは全体会議や書面を活用して共有している。	・職員全員でタイムリーに打ち合わせの場をもつことが難しい状況にあるが、必要な情報が遅延無く伝達できるよう工夫を続けていく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	0	・日々の記録をタイムリーに記載している。 ・内容や、記載漏れについて職員同士確認している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	0	・半期ごとにモニタリング、個別支援計画の見直し、保護者との面談を行っている。 ・期の途中でも必要に応じて話し合いを行い計画を見直している。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	1	・サービス担当者会議が開かれる場合には園長と担当スタッフの2名体制で参加している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	1	・必要にあわせて主治医やリハビリ機関等への同行を行い情報接続を行っている。 ・自治体や相談支援員、教育委員会等と連携して支援体制を整えている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9	0	・就学に向け教育委員会や進学先の学校との情報連携を行っている。 ・近隣幼稚園、保育園と交流保育を積極的におこなっている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9	0		
	28	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	3	6		
	29	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	9	0		
	30	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0	・連絡帳での連絡、送迎時のお話、必要時には電話等を通して丁寧に情報連携を図っている。	
	31	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	6		
	32	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	0		
	33	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0		
	34	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	9	0		
	35	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	0		

保護者への説明等	36	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	9	0	・ご家族同士の交流機会を設けられるよう、保護者会や夏祭り、親子遠足などの行事を実施している。
	37	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0	
	38	定期的に通信等を発行することや、ホームページやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9	0	・毎月園だよりで保育活動の様子を発信している。 ・連絡帳を活用して日々の情報を共有している。 ・事業活動の動向についても毎月の通信でお知らせしている。
	39	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0	
	40	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0	
	41	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	5	
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	0	
	43	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	0	
	44	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9	0	・入園時にお子さんの体調面の情報を細かく確認させていただき、保育に臨んでいる。 ・日々の連絡の中で、随時お子さんの状況を把握し保育に臨んでいる。
	45	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9	0	・医師の指示書や保護者からの申告書に基づいた保育を実施している。 ・看護師が中心となり、園内向けの勉強会を開催しスタッフの知識や理解を深めている。
	46	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	0	
	47	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	0	
	48	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0	
	49	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	0	
	50	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	9	0	